

情勢報告（平成28年6月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

土佐町に新たな集落営農組織が設立！！

～松木野営農組合の設立報告会～



営農組合のメンバー

6月11日、土佐町溜井の松木野集会所で、設立報告会を開催し、組合員5名、役場、JA、普及所の関係機関7名が参加しました。

松木野地区では、耕作放棄地を増やさないために、地域で農地を守る仕組みを作っていきたいという思いで、勉強会を行ってきました。JAから栽培品目提案、役場から集落営農研修会の参加呼びかけ、普及所から規約作成の支援を行い、5月20日に松木野営農組合を設立しました。

今後は、農作業の受託及び耕作放棄地を活用してサツマイモやニンニクの共同栽培を計画しており、普及所では関係機関と連携して、組織活動のステップアップに向けた支援を行っていきます。

EUへのユズ青果輸出の取組



検討会

5月30日、ユズ青果のEU輸出事業検討会が普及所で開催され、関係者11名が参加しました。

輸出は今年が3年目、当初から普及所は関係者との調整や会議資料の作成など、事務局（JA）をサポートしてきました。

今回の検討会では輸出向けユズ栽培農家2名から「面積を増やしたので量は確保できるが、防除や選果が大変なので価格アップを・・・」などの要望があり、規格や価格交渉、輸出検疫に適合する防除技術などを重点的に支援することにしました。

普及所は防除技術等の重点指導に加えて、青果だけでなく、加工品の輸出についても支援を行っていきます。

認定農業者のフォローアップに取り組んでいます！！



認定農業者と面談

大豊町担い手育成総合支援協議会では、3・5年目を迎える認定農業者のフォローアップ活動として個別面談を6月から始めました。

普及所はJAや役場の職員と、経営改善計画の進捗状況や今後の計画変更などを確認し、経営内容について助言しています。

今後、対象者11名と順次面談し、本人が立てた改善計画が達成していけるよう、支援していきます。

飼料用稲（WCS用）専用品種「たちすずか」の栽培指導



「たちすずか」の移植

6月13日、普及所は飼料用稲（WCS用）専用品種「たちすずか」の植付けを実施しました。嶺北地域では飼料用稲専用品種の栽培が殆ど無いため、品種特性や施肥及び病害虫防除について、JA等と連携して現地適性を調査研究しています。

また、普及所は省力を目的に「たちすずか」の直播栽培も行っており（5月28日播種）、今後、直播と移植の生育・収量調査及び課題について整理し、飼料用稲の普及を図っていきます。

本山町「さくら茶屋」の利用拡大に向けて



さくら茶屋

普及所は、5月25日、本山町プラチナセンターで、本山さくら市運営委員会役員4名と「さくら茶屋」の利用規定について検討しました。

「さくら茶屋」は、H27年3月に本山町の直販所本山さくら市に併設された加工販売施設です。さくら市に出荷された野菜を活用し、軽食や加工品等を販売しています。

普及所は、今後利用グループに対し、さくら茶屋の利用計画の作成支援や衛生管理指導などを行い、利用拡大に向けて支援していきます。

第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催！ ～普及指導計画や地域課題解決について協議～



普及推進協議会の風景

6月21日、今年度の普及指導計画について、農家の代表者とJA、町村関係機関27名が参加し、今年度1回目の「普及推進協議会」を普及所で開催しました。

会では、総合課題と個別課題を説明し、第3期産業振興計画（農業分野）や管内での環境保全型農業の取組について情報提供し、協議会構成員13名から意見を伺いました。

構成員からは、「直販所への端境期と高齢者向け野菜栽培への支援や担い手確保に向けた研修生募集への協力要請」など活発な意見が出され、地域課題を共有することができました。

普及所は、出された意見を参考にし、今後の普及活動に活かしていきます。